

企画・地域振興部情報政策課
デジタル戦略推進室
担当：澤、安達
直通：092-643-3229

庁内に「生成AI 検討プロジェクトチーム」を発足します！

- インターネット上のデータを学習し、自然な文章や画像を自動で生成するChatGPT（チャットジーピーティ）（※1）をはじめとする「生成AI」が注目されています。
- 生成AIは、有効に活用すれば、業務の効率化や生産性の向上、県民サービスの向上につながる可能性があります。一方、入力された内容を学習し、その学習した内容を利用して、情報の生成を行うことで、情報漏えいに繋がる恐れがあります。
- 庁内で利活用するには、個人情報や非公開情報の漏えいのリスクや、生成された情報に不正確な情報が含まれる場合の対応など、利活用のためのルールや安全に利用するためのシステム環境の整備が必要です。
- このため、5月26日（金）に、外部有識者として情報科学分野や法律分野の専門家を加えた「生成AI 検討プロジェクトチーム」を庁内に立ち上げ、5月29日（月）に第1回会合を行います。

1 生成AI 検討プロジェクトチーム

設置日：令和5年5月26日（金曜日）

構成：関係所属長（各部主管課等）、学識経験者（情報科学分野、法律分野）

事務局：情報政策課デジタル戦略推進室

検討内容：①庁内利活用の方向性、②庁内利活用ガイドライン、③利活用環境の方向性

特徴的な取組：・広く職員からアイデアや意見を募集し、部局ごとの活用案を作成

・両政令市等と検討状況を共有、市町村における利活用を支援

※第1回会合は5月29日（月）に開催。詳細は後日お知らせします。

【参考】

○（※1）ChatGPT（チャットジーピーティ）

アメリカのベンチャー企業のオープンエーアイ社が開発したツール。チャット形式で質問に答えたり、文章を生成したりすることができる。高度なAI技術により自然な対話ができるサービスとして注目されている。

GPTは、「Generative（文章を生成する）」、「Pre-trained（事前に教育された）」、「Transformer（変換器）」の略称。